

全労連女性部ニュース NO419 2012年9月6日

発行 全労連女性部 〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館 4F



第58回 日本母親大会 in 新潟

原発からの撤退を/被災地の願いにそった希望ある復興を/基地のない日本を

第58回日本母親大会は25～26日、新潟市内朱鷺メッセなどを会場に開催されました。全体会会場には「私の願い」を書きこんだ米粒形のシール2万枚を貼ったタペストリーや、巻原発建設を阻止した新潟野母親たちの歓迎の垂れ幕で飾られました。「いのちを生み出す母親は、いのちを育て、いのちを守ることをのぞみます」の母親大会のスローガンを守り発展させようという思いがあふれる大会は、両日でのべ1万3200人が参加しました。25日は31の分科会・シンポジウム・講座・特別企画にわかれて話し合い、26日全体会では、主催者を代表して、代表委員の柴田真佐子全労連副議長が、「母親大会58年の歩みを確信に、女性たちの切実な願いをかかげ、この激動の情勢にしっかりむきあい連帯を強めましょう」とあいさつしました。

記念講演は、ジャーナリストの斎藤貴男さんが「格差と貧困のない社会を一3・11以後…私たちはどう生きるのか」と題して記念講演。大企業のための震災復興や、消費税増税、教育の序列化など、格差と貧困を拡大させるアメリカや財界主導の政治の害悪を批判。すべての人が幸せになる社会をめざそうと呼びかけました。

母親大会「今日の運動」では各地の運動を交流。事故の原因も不明で、責任もとらずに原発を再稼働させた国への怒りが大きく広がり、原発ゼロの運動の戦いの広がり、オスプレイ配備反対運動、米軍基地撤去のたたかい、公務員パッシングの世論操作の中で、労働者の賃下げを強行しようとする政府、不当な解雇やパワハラにたちあがった労働者たちのたたかい、税と社会保障の一体改革は生きる権利を保障した憲法に反するとたちあがった女性たちが次々と登壇しました。全体会最後に、「原発からの撤退を」「被災地の願いにそった希望ある復興を」「基地のない日本を」の声を草の根から大きくしていきましょう。母親・女性たちの切実な願いを掲げ連帯をいっそう強め子どもたちに明るい未来を手渡すために力を合わせましょうとするアピールを採択し、来年の開催地東京でまた多くも仲間を誘って再会することを誓って閉会しました。



沖縄米海兵隊員による強制わいせつ致傷事件に抗議



（沖縄県労連女性部ニュース「みやらび」24号から）オスプレイの配備に反対する世論の声が高まるなか、海兵隊員による強制わいせつ致傷事件がおきました。18日午前4時半ごろ帰宅途中の40代の女性が背後から引き倒し、わいせつな行為をしてけがを負わしたとして、強制わいせつ致傷の疑いで在沖米海兵隊基地キャンプ・バトラー所属の海兵隊伍長21歳

が逮捕されました。同容疑者は「女性を介抱していただけ」と容疑を否認。バーで酒を飲んでいたと話しているが、アルコールは検知されていないという事です。

抗議集会は、逮捕された海兵隊員が所属する基地のゲート前で行われ、平和団体や女性団体の代表が「弱い女性を背後から狙い卑劣な計画的犯行」「在沖海兵隊の性的暴行発生率が米本国より2倍も多いことがあらためて実証された」と怒りをこめました。参加者は、米軍四軍調整官事務所のあるゲート前で「人権侵害は許さない！」「米軍は出ていけ！」などと訴え抗議行動を行ないました。

沖縄県女団協が会見 基地を撤去して未来ある子どもたちの為に平和な沖縄を

21日午前11時より県庁5階の記者クラブで、県労連女性部も加盟する沖縄県女性団体連絡協議会（女団協）は記者会見を行ないました。被害者への謝罪や基地撤去などを野田総理、オバマ大統領に求める抗議の要請文を紹介し、外務省、在沖米国総領事館に抗議する日程で調整を進めています。会見のなかで、伊志嶺会長は「女性として耐えがたい事件です。復帰40年たつとも占領意識丸出しの状態、事件のたびに抗議しても一向に収まらない。女団協25団体の総意として抗議する」と訴えました。県労連を代表して平安事務局次長は「なぜ私たち女性ばかりがこの様な目にあうのか。もう綱紀粛正だけではだめ！ 基地を撤去して未来ある子どもたちの為に平和な沖縄を残していこう！ 沖縄から基地をなくす運動を広げていこう」と発言

●情報●

●待遇説明の要求、「ある」20.4%／11年「パート労働者総合実態調査」/厚生労働省

厚生労働省は23日、2011年の「パートタイム労働者総合実態調査」（個人調査）の結果を公表した。調査は約5年おきに実施され、今回は07年のパート法改正後初めてのもの。パートに対する質問項目で、自分の待遇について会社に説明を求めたことが「ある」人は20.4%、このうち「説明があり納得した」70.6%、「説明はあったが納得しなかった」21.4%、「説明してもらえなかった」8.0%だった。

http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keitai/11/dl/houdou_shiryou_kojin.pdf

（結果の概要）

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/koyou/keitai/11/>

●若者雇用関連データ/厚生労働省

<http://www.haisin.mhlw.go.jp/mhlw/C/?c=178835>

●介護労働者の離職率16.1%／11年度「介護労働実態調査」

介護労働安定センターが17日発表した2011年度「介護労働実態調査」結果によれば、11年9月末までの1年間の介護労働者の離職率は16.1%、月給者の所定内賃金は21万6,086円（前年度21万6,494円）だった。介護職員処遇改善交付金を受け取った事業所の経営面での対応状況を見ると、「一時金の支給」が67.0%、「諸手当の導入・引き上げ」が40.2%、「基本給の引き上げ」が22.2%、「教育研修の充実」が16.1%であった。仕事を選んだ理由のうち、「働きがいのある仕事だから」が55.7%（前年度55.7%）となっている。労働条件等の不満では、「仕事内容のわりに賃金が低い」44.2%（前年度46.6%）、「人手が足りない」40.2%（同40.1%）、「有給休暇が取りにくい」36.1%（同36.9%）、「身体的負担が大きい（腰痛や体力に不安がある）」30.8%（同31.1%）となっている。

http://www.kaigo-center.or.jp/report/h23_chousa_01.html

●リーフレットなど 悩んでいませんか？職場でのセクシュアルハラスメント/厚生労働省

<http://www.haisin.mhlw.go.jp/mhlw/C/?c=178679>

●パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」平成24年版/内閣府男女共同参画局

内閣府及び男女共同参画推進連携会議の共同で、男女共同参画の基本となる法律・歴史・現状のデータ等を解説するパンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために」の最新のデータを反映した平成24年版が完成。 <http://www.gender.go.jp/renkei/pamphlet/index.html>